◀この一般質問の映像はこちらから

町長の公約について

関　幸夫

質問

町長の公約の進捗状況は

町 ほぼ全ての項目に取り組んだ

問　6分野33項目ある公約の現在の進捗状況は。

答（町長）　実現に向けて、ほぼ全ての項目に取り組んできた。特に町有財産の有効活用、包括支援センターの充実、バス関係、企業誘致関係など、力を入れて取り組みたい。

問　矢の目ダムと森林を生かした多目的空間整備の取り組み状況は。

答（企画財政課長）　令和3年度の当初予算に周辺の環境整備費を計上。提案公募型の事業を実施したい。

問　町有財産の有効活用の取り組み状況は。

答（町長）　地域の意見や民間企業からの提案を踏まえ、順次決定する。

問　農林業と観光・商工業の連携促進の取り組み状況は。

答（観光商工課長）　観光と農作物のプロモーションや乳製品の6次産業化。農林業分野での観光誘客を視野に事業を展開している。

有効利用が望まれる矢の目ダム

黒田原地区まちづくりについて

質問

活性化のためJRの乗り入れは

町 引き続き要望

問　黒田原まちづくりビジョンのコロナ禍による計画期間への影響は。

答（企画財政課長）　ここまでは計画通り進めてきた。コロナ禍の影響で推進協議会との話し合いができず、今後の計画は1～2年程度遅れる。

問　JR宇都宮線の町までの乗り入れは。

答（ふるさと定住課長）　JR東日本に対し、県や市町と連携し要望活動を行っている。膨大なコストが必要で難しいとの回答だが、引き続き要望活動を続けたい。

問　交通系ICカードの黒田原駅への導入は。

答（ふるさと定住課長）　現状は難しいが、宇都宮線乗り入れと一緒に要望活動を行っている。

問　上ノ原地区の蓮の環境整備を支援する考えは。

答（企画財政課長）　地域における蓮の位置付けを確立後に協議したい。

問　那須高校と連携して蓮の管理はできないか。

答（企画財政課長）　学校運営協議会で提案したい。

現在の黒田原駅改札口

※ほかに・・・「地域防災について」の質問もしています。